

妙法寺だより

今を生きる智恵と勇気ともに学び歩むお寺

vol.256

お盆号

7

2024 SUMMER

季刊誌2024年7月発行

お盆について

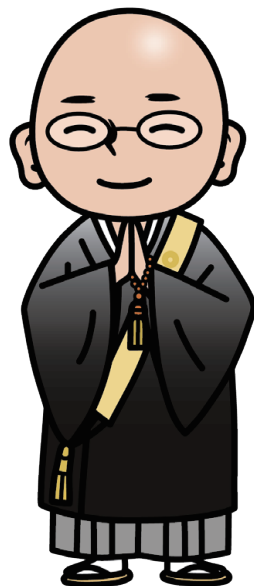
・生活スタイルに合わせたお盆供養
・卒塔婆の申込み／お墓参り代行／お盆のお飾り
能登半島お見舞いのご報告／ほおずき市のご案内／奉納主募集について

コラム「住職のCoffeeTime」／勝手に予測しないこと

お盆の供養は 生活スタイルに合わせて

家族が集まる日に供養したい、
毎年恒例の合同供養に参列したい、
自宅の仏壇にお経をあげてほしい、
お寺に供養をお任せしたい、

など、皆さまのお盆の供養に対するさまざまな気持ちにお答えできるよう
自由なスタイルでお盆をお迎えいただければと思います。



卒塔婆を申込む



卒塔婆 : 一本 3 0 0 0 円

お盆には卒塔婆をお建てしその御心を捧げます。同封の「卒塔婆申込用紙」に必要事項をご記入いただき、7月末日迄に同封の返信封筒、またはFAX・Eメールでお申込ください。

※申込み締切は7月末日です。お忘れなく!!



住職からのお願い

郵便物が戻ってくるケースが増えております。お引っ越しの予定がある方、妙法寺だよりの送付先に変更がある方はお早めにお知らせください。

合同法要

8月16日のお盆の合同法要は「盂蘭盆施餓鬼会法要」と言い、近隣の僧侶をお招きしてご先祖の供養を営む昔からの妙法寺伝統のお盆法要です。法要後には住職の法話もございます。

8月16日（金） 14：00



※本堂での収容人数を超えた場合は客殿にてご参拝となります。

※混雑が予想されます。椅子席をご希望の場合はお早めにお越しください。

生花

8月9日（金）－16日（金）

墓地での販売はございません。
受付にてお買い求めください。

◆生花一対（線香付）◆

¥1,500

◆お線香一束◆

¥100



駐車場

墓地裏口（小学校側）を臨時
駐車場として開放しております。

小学校前は朝7：00－8：30
まで通行禁止となっております。

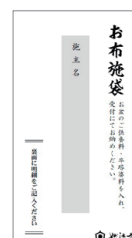


お布施

お盆の供養料、卒塔婆料はお布施
袋に入れて受付にてお納めください。

◆表面：お名前

◆裏面：金額と内訳



個別法要

コロナをきっかけに始まった新しいお盆供養のカタチです。下記の期間中は随時、僧侶が個別のお盆法要を営みます。ご家族の都合が合うタイミングでご供養いただけます。

8月9日(金) - 15日(木)

9:00 - 16:30 (15日はAMのみ)



※お申込みいただきました卒塔婆にお経をあげてお渡しします。

※ご自宅のお位牌をご持参ください(なくても可)ご本尊様にお供えしご供養いたします。

※お経のお時間は10分ほどです。

8月9日(金) - 15日(木)



縁日体験



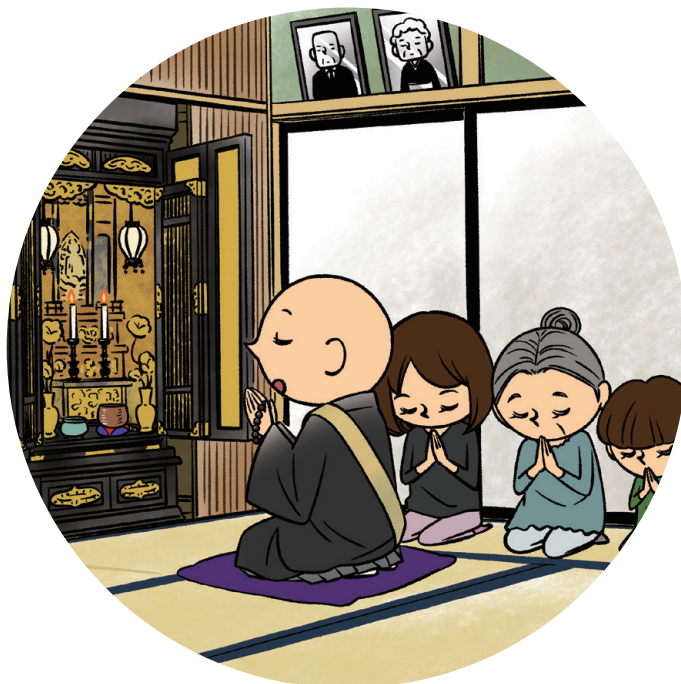
子ども限定

個別法要期間中、お墓参りに来たお子さま向けに縁日体験を行っております。受付にてチケットをお渡しします。

棚 経

お盆の時期に僧侶が家々のお仏壇を回り、ご自宅に帰ってきているご先祖様にお盆の供養をいたします。年に一度はお仏壇にお経を上げてほしいという方に。

7月10日（水） - 18日（木）



■ 毎年伺っているお宅には今年も予定通り伺います。
■ 新規でご希望の方は7月9日までに電話でお申込みください。

棚経の日程

10日（水） 栄区・鎌倉市・藤沢市

瀬谷区・泉区

11日（木） 金沢区・磯子区・中区・鶴見区

西区・神奈川区

12日（金） 都筑区・港北区・緑区・港南区

南区・保土ケ谷区

14日（日） 旭区

15日（月） 戸塚区

16日（火） 下・上矢部方面

17日（水） 中村・金房方面

18日（木） 歌舞伎方面

お盆棚経のご案内

下記の日時でお伺いします

様
月 日

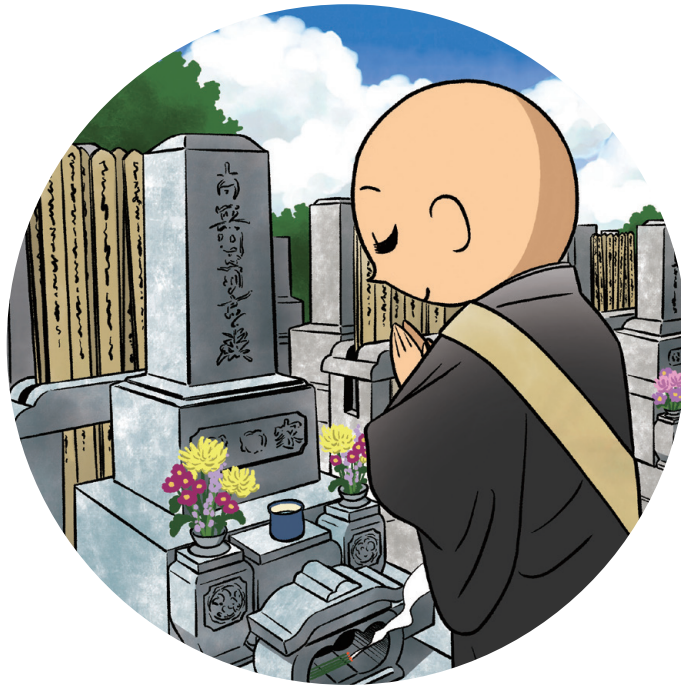
棚経期間中は一日に多くのお宅にお伺いするため、諸事等により、時間が早まったり遅れたりする場合がございます。ご案内時間の1時間前後、余裕をもってお待ちしておりますようお願いいたします。

日蓮宗 宗門史跡 妙法寺
〒225-8652 横浜市戸塚区本郷772-4
TEL: 045-911-0256 FAX: 045-912-7678
E-mail: info@myonin.jp

棚経に伺うお宅には日時のご案内ハガキが届きます。ハガキが届かない方で棚経を希望される方はお電話でお申込みください。

お墓参り代行

仕事の都合で帰省できない、体調がすぐれない等さまざまなご事情でお参りに来られない方や卒塔婆を墓地に供えることが難しい方は卒塔婆申込用紙にその旨をお書きください。お盆の法要が終わりましたらお寺で卒塔婆を墓地にお供えし、ご供養いたします。後日報告書を郵送しております。



■ 妙法寺に墓地がある方のみとなります。
■ 卒塔婆料やご供養料は後日郵便振込用紙を郵送します。

お盆お飾り

お盆のお飾りで大事なことは
“末永く続けられるおもてなしの心”です。

販売されているお盆用品などを上手く使いながら、
好物だった物や故郷の食べ物など心のこもったもの
をお供えいただくのが良いでしょう。



- ・ほおずき
- ・ナスとキュウリの乗り物
- ・提灯
- ・故人の好物

8/13



8/16



震災被災地 能登半島へ

本年の元旦に発生した能登半島大地震の被災地へお見舞いへ伺ったご報告をいたします。

【お世話になった先輩をたよりに】

能登半島大地震で大きな被害にあった石川県の七尾市、輪島市へ3月22日から2日間お見舞いに行つて参りました。今回、長年お世話になってる先輩である河崎俊宏上人に被災地を案内していただきました。河崎上人は「七尾市本延寺」と「輪島市妙相寺」の2つの寺院を守られており、両寺院とも大きな被害に遭われたご住職です。今回の訪問で少しでも片付けのお手伝いをしたいと思って伺いましたが、被災状況は私たち素人には手を出せるものではありませんでした。河崎上人は「もしこの地震が自分のお寺の地域で起きたら」を想像し、自分事として考え、さまざまなことを感じて帰ってほしい、との思いから片付けで忙しく、心身共に疲弊している中でも被災地を丁寧に案内してくださいました。

右／輪島市朝市通りの被災状況
下／河崎俊宏上人と



【皆さまからお預かりした募金】

河崎上人と奥様は避難生活を送りながらも、自宅で避難している方々を巡っては、人々の声に耳を傾け、心のケアをされていると伺いました。そこで、インスタント食品に偏りがちな避難生活に少しでも彩りを加えようと考え、春のお彼岸期間中に皆さまからお預かりした44502円の募金で横浜名物、崎陽軒のシウマイを100個購入し、避難所の方々へのお土産としてお渡しさせていただきました。

下／皆様からお預かりした募金で横浜名物シウマイを100個、七尾市本延寺様に持参





上／輪島市の妙相寺の様子。

右上／地震当日は本堂で元旦の行事が行われていたが奇跡的に人的被害はなかったとのこと。

右下／卒業された筒井上人と息子の大智も同行。



【復興への決意】

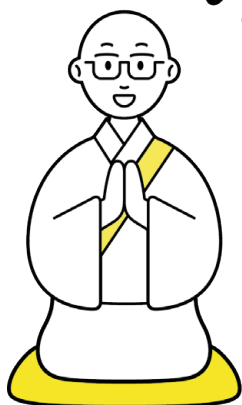
河崎上人は被災地を案内しながら、「このような状況だからこそ、祈り、心を休め、泣き、笑える場所としてのお寺が必要である」と、寺院の復興に対する強い決意を語られていました。私は日蓮宗の仕事で過疎化が進む地域として何度も能登半島の寺院を訪問し、調査を行ってきました。もともと過疎化が進んでいた能登半島ですが、今回の震災により一層人口流出が進み、さらなる過疎化が懸念されています。そのような状況下で、2つの寺院を復興することは計り知れない努力と長い年月が必要であることは間違いありません。それでも河崎上人の強い意志と情熱に触れ、これからも末永く支援を続けていきたいと強く感じました。

この訪問を通じて、震災の影響と復興の難しさを改めて実感するとともに、地域の支えとなる寺院の重要性を再認識しました。今後も一層の努力を重ね、被災地の復興に向けた支援を続けてまいりたいと思います。

勝手に予測しないこと

今回のコーヒータイムは、先日出演させていただいたラジオ番組で感じたことをお話させていただきます。

住職の



Coffee Time



【Death（デス）フェスの参加をきっかけに】

先日、「渋谷のラジオ」というラジオ番組に出演させていただきました。きっかけは4月に渋谷ヒカリエで開催された「Death（デス）フェス」という「自分自身の生と死を見つめる」というテーマのイベントに地獄VR体験のご依頼を受け登壇する機会をいただいたことでした。当日は「死」をテーマにしたイベントを若者の街である渋谷で開催するという珍しさから、テレビや新聞などメディアも多数取材に訪れており、そのキャッチーさから地獄VRのチケットも即日完売だったそうです。その後イベントの盛況を受け、渋谷のラジオで「死」について発信するラジオ番組をスタートしたということで、お二人がパーソナリティを務めているラジオ番組へご依頼いただき出演となりました。

写真上／渋谷ヒカリエで開催されたDeathフェスの特設ステージに登壇。
写真下／渋谷でラジオ公開生放送中の様子



妙法寺のさまざまな取り組み ※ホームページより

仏教には「抜苦与楽(ぬくくる)」という言葉があります。

これは、「人々の苦しみを癒し、愛を与える」という仏教の大事な教えであります。
僧侶として多くの仏事を読み、たくさんの方々の悩みや苦しみに耳を傾けていくなかで

相談の多かったものを掲載しました。

また、コロナ禍にご迷惑されお悔いを行えなかった方へのせいなど
運に頼置いたら良いのかわからない伝言での質問や
苦しみを取り除くことができますように。



コロナ禍によって
大切な方の最期を弔えなかった方

コロナによって大切な人の最期の時を
納得できるカタチで迎えなかったことによる
「あいまいな喪失」を数える人が増えています。

最小限の参加者で火葬のみが行われていたコロナ禍の悲しみおくりが叶わなかったことで、故人の死を受け入れられようとする事もできない喪失の苦しみを生みだしました

模範として、道された方のその苦しみに何ができるのかを考え、
自分のための模範の場として「強い直し」の模範のご相談を行って
おります。

友だち法要 △

葬儀を行わなかった方へ

「経済的に厳しくて…」
「故人の遺言だったから…」
というご事情から、葬儀を行わなかった。

しかし、実際に欠席を誘え、しばらくすると「本当に借借や御礼を行わなくて良かったのだろうか…」と道言とはいへ、私たちが道言や友人達の心の整理がつかない」「¹借借不覚」と道言したのは、家業の負担を忍びやってではないだろうか？ ちゃんとやってあげたほうがよかったのではないだろうか。と、大きく後悔をされる方のご相談も増えてきています。

供養は、故人様の来世が安らかであることを祈ると共に、残された遺族・親戚・ご友人の喪心の心を癒やし、一歩踏み出す生きる力を与えてくれるものです。

ご退社となってからの労債のご相談も行っております。

お骨葬 △

【「伝えること」と「伝わること」】

番組の打合せの時に、お二人が大事な家族を亡くした時、一方的に進めていく葬儀社さんの葬儀のやり方に残念な思いをしたり、言われた言葉に違和感を感じた経験が、Deathフェスを始めるきっかけとなり、それに伴って死生観を深く考えるようになったと聞きました。そこで「エイジングノート」や家族と話し合ってつくる「生前戒名」、コロナ禍で始めた「ともだち法要」など、多くの死の現場に携わった経験から生まれた妙法寺の取り組みについてお話をさせていただきます。お二人からは「そんな取り組みがあるなんて知らなかった」「こんなお寺やお坊さんにもっと早く出会って相談していたらこんな後悔をしなくて済んだの

【勝手に予測しないこと】

に」という言葉があり、改めてまだま
だ多くの方々が悔いの残る葬儀を行っ
ていることを知りました。それと同時
に妙法寺の活動も世の中の必要な人
に全然届いていないことを実感しまし
た。妙法寺では常に今の社会に合った
企画を考え、妙法寺だよりやホーム
ページ、時にはテレビや新聞などメ
ディアでも発信してきましたが、「伝
えること」と「伝わること」の大きな
違いに気付かされました。

実は当初イベントにお声がけをいた
いた時、一度お断りをしました。渋谷
ヒカリエという駅ビルでやる死のイベ
ントの華やかでお祭りのような企画に
違和感があったからです。しかし、そ
の後VRをお寺に体験しに来てくれた
お二人のイベントに対する熱意に、そ
れならばこのご縁で渋谷の若者が少し
でも仏教に触れてくれたら、と参加す
ることにしたのです。そんな流れから
の今回のラジオ収録のご縁を経て、無

緊張のラジオ生放送収録後（右から市川さん、小野さん）



意識にやっつけてしまう自分の悪い部分を反省しました。一般的に「経験値を積むと良い」とよく言われますが、経験によって結果を勝手に予測して行動や思考を狭めてしまい、新たな広がり逃してしまうこともありま

す。今回のご縁によって今まで伝わらなかつた人たちに伝わった経験は、自分の中にある「勝手に予測するこ

と」を反省する機会となりました。

ほおずき市

7月13日（土）

9：00（雨天決行）

東戸塚ライオンズクラブ主催のほおずき市が今年も開催されます。ほおずき市の収益は、戸塚区社会福祉協議会や神奈川新聞厚生文化事業団などに寄付しております。地域のお祭りとしてご家族やご友人と楽しい時間をお過ごしください。



奉納主募集

新調しました本堂導師席の奉納主を募集いたします。

■ 奉納者：1名

■ 奉納金：50万円

ご奉納の際には導師席の脇にお名前や
ご希望の願い事を書き入れます。

- 施主名／日付
- ご先祖様のご供養
- 家門繁栄などの願い事

